

啓蟄投稿規定 (2021.3.7 改訂)

- ・ 会員は啓蟄に原稿を投稿することができる。著者が複数の場合、少なくとも一人が会員であることを必要とする。
- ・ 原稿はデジタル原稿のみとする。
- ・ 著者は、原稿をワードで作成し、**word**形式で編集委員にメールで投稿する。
- ・ 表および写真は、原稿に挿入して完成させたものとする。
- ・ 写真の大きさは、**6cm×4cm** くらいを基準とし縮小して張り付ける。ただし、写真の大きさは、かなりの変更を可能とする。
- ・ 写真の説明文は、写真の下に入れる。Fig. 1, または、図 1, ギフチョウ終齢幼虫 など、また、本文に解説を入れる。ギフチョウの終齢幼虫を観察した (Fig.1 または図 1)。
- ・ 表の説明文も表の上に挿入する。表 1 ギフチョウの発生個体数, Table 1・・など、また、写真と同様に本文に解説を入れる。ギフチョウの発生個体数を表 1 に示した。ギフチョウの・・(表 1) など。
- ・ 表はワード原稿内で作成、もしくはエクセルで作成し添付する。エクセル添付の場合、表は、**excel**形式で別途編集委員会に原稿と同時に提出する。
- ・ 表、写真は、サイズ、位置を編集委員で変更することがある。縮小されていないデジタル写真は、校正段階で提出する。(提出期間、提出先は改めて連絡がある)
- ・ 短報は、長文原稿の最終ページの空白に使うため掲載が遅れることがある。
- ・ 文章形態は、本文 49 文字 42 行を、タイトルは 6～7 行を基本とする。
- ・ 漢字、ひらがなの文章は、MS 明朝で、アルファベットは Century あるいは Time New Roman の 10.5 を、目録は、9.0 を基本とする。タイトル、著者名は 14.0 とする。
- ・ 文章は、「である調」とし、文または語句の切れ目は、ピリオド、コンマで統一する。
- ・ 引用文献は、以下のように示す。
長良太郎, 2030. 岐阜市金華山でオオムラサキの目撃記録. 啓蟄 75 : 43–45.
飛騨岳史・郡上鮎子, 2035. 日本産ハエ類図鑑 1, 420pp. 美濃教育出版, 岐阜.
- ・ 校正など編集のやり取りは、すべてメールで行う。
- ・ 投稿は、編集委員の投稿受付者 [□](#) へメールで送付する。
- ・ 文末に文献を紹介するときは「引用文献」とし本文中に著者、年代を以下のように明記する。
の記載がある(織田, 2010), ・・という(明智ら, 2021), 斎藤(2009)は・・。
- ・ 本文中に種名(和名)を複数回繰り返すときは、最初のみ学名をつける。目録を主とする報告は、できるだけ亜種名まで入れた学名一覧を列記する。学名の表記チェックは、著者が充分に行い、最新の図鑑類や各学会の最新報告などを活用するのが望ましい。
- ・ タイトルや Summary を英文で記述することは、著者の判断とするが、ネイテブや専門家の校閲を受けた文章を使用することが望ましい。
- ・ 啓蟄発行後、報文の筆頭著者には掲載誌を 10 部、短報の著者には 3 部が送付される。また、pdf 原稿が渡される。ただし、共著で会員外にはいずれも渡されない。
- ・ 別刷りを希望する場合は編集委員に連絡をし、印刷屋との直接交渉で作成する。別刷りに係る費用、送料などは全て著者負担とする。

Supplement の作成について

・ 会員は啓蟄の名称を用いて Supplement の発行ができる。ただし以下のような条件を満たすことが求められる。

- ① 主たる内容が昆虫に関することで、事実に基づくものであること。
- ② 会や会員を誹謗したり、中傷したりする内容が含まれないこと。
- ③ 著者あるいは投稿者が記載内容のすべてについて責任を負うこと。
- ④ 出版に伴う必要経費のすべては著者あるいは投稿者が負担すること。
- ⑤ 著者あるいは投稿者は編集委員会の指示に従うこと。
- ⑥ 会員への配布を行い、啓蟄と同時に発行するときは送料が会の負担となる。